

小さな物語が、
誰かの心を動かすと信じて。

社会課題の 伝え方 *social issues*

—— 動画をコンテンツにして

福寄 広之 Hiroyuki Fukuyori
ドキュメンタリー作家・映画監督

参加費無料
※事前申し込みが必要
どなたでもご参加
いただけます。

社会福祉に関する社会課題は、
人が何かしら人としての権利が保障されていない状態であることが多い。
それは時として社会の中にある無関心であったり、
無知から生まれてくることもある。
今回、短編映画監督を講師に、動画を通して、
社会課題をどのように社会へ発信しているのかについてお話いただく

日時 令和8年11月26日(木)
13:00～14:30 天理大学43I教室

申込 参加申し込みは、下記QRコードから。
申込締切:11月19日(木)

内容 短編ドキュメンタリー上映&講義(約90分)

- ①「家族の境界線」住まいを失った人の自立支援保護シェルター(3分)
生活困窮者支援の実態について
- ②「いまにまるを」障がいと向き合い40年で見てきた景色(14分)
障がいのある子どもたちとその家族について
- ③「お馬さんの背中中」小さな変化を見つめて(12分)
医療・福祉・教育・引退競走馬支援がつながる
新たな可能性

質疑応答

主な実績



いまにまるを……Short Shorts Film Festival & Asia 2025
宮古島国際映画祭 2025

家族の境界線……札幌国際短編映画祭 2023
芦屋国際芸術映画祭 2024

お馬さんの背中中……TOKYO TANPEN fes.2026

ノミネート
最優秀作品賞

ノミネート
ノミネート

ノミネート
など

福寄 広之

鳥取県日吉津村在住。
ドキュメンタリー作家・映画監督

「伝える」ではなく、「残す」

情報が消費される時代だからこそ、時間
が経っても価値を持ち続けるドキュメン
タリーの力を信じています。
社会課題・教育・地域づくりをテーマに、
人や組織の想いを丁寧に記録し、未来へ
受け継がれる「資産となる映像」を制作
しています。

また、企業・団体のブランディングや広
報、採用活動においても、ドキュメンタ
リーの手法を取り入れ、一人ひとりの想
いや組織の本質が伝わる映像づくりを行
っています。



◀ 申し込みはこちら

問い合わせ先 | 社会福祉学科：種村理太郎 | tanemura@sta.tenri-u.ac.jp